

Borderless IR Co., Ltd Announces Newsletter

2018年8月10日

株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部) 2018年12月期第2四半期決算報告の概要

決算概要

○2018年12月期は、中期経営計画「V-PLAN60」では、「HOP-STEP-JUMP」のJUMPの年で、中期経営計画数値の達成に取り組んでいる。主な事業戦略としては、将来の収益性の向上に重点を置き、環境機器関連事業セグメントにおいては、ストックビジネスとして、メンテナンス事業及び上水エスコ事業の営業強化、海外における事業展開の推進、また住宅機器関連事業セグメントにおいては、基本に忠実な営業スタイルを徹底するとともに新規顧客の開拓に努め、再生可能エネルギー関連事業においては、循環型社会の実現と将来の需要拡大に向けた開発・販売強化を実施している。

○第2四半期連結累計期間における売上高は174億29百万円(前年同期比104.8%)、営業利益は4億93百万円(前年同期比83.5%)、経常利益は5億96百万円(前年同期比92.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億17百万円(前年同期比83.6%)と、利益面では前年同期比で減益となった。セグメント利益(営業利益)では、住宅機器関連事業セグメントは、当初計画並みの推移だったが、環境機器関連事業セグメントが未達成となり、全体で当初計画を下回った。

○環境機器関連事業に関しては、浄化槽排水処理システム売上は前年同期と比べやや減少し計画未達。特に海外売上高は、前年同期に中国で大型案件の完成があったものの当期はそれに並ぶ案件計上がなく、インドネシアやアルジェリア案件の収益計上が第3四半期連結会計期間以降へ期ズレした。国内売上高については前年同期並みに推移したが、電子部品関連の産業排水処理案件が第3四半期連結会計期間以降へ期ズレしている。ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水事業エスコ収入については前年同期と比べ好調に推移した。

セグメント利益(営業利益)については、国内事業で、赤字工事14百万円の発生や外注費の上昇によるコストの増加等の利益抑制要因もあり、昨年並みの利益率を確保できなかった。結果、売上高は83億75百万円(前年同期比96.4%)、セグメント利益(営業利益)は、5億93百万円(前年同期比77.9%)となり、当初計画未達となった。

○住宅機器関連事業に関しては、全般的に顧客開拓が進み、前年同期と比べ堅調に増加した。ホームセンターリテール商材は、前年同期と比べやや減少、住機部門工事は店舗建設工事が今期売上計上に至ったことで大幅増加。

セグメント利益（営業利益）については、第1四半期連結累計期間では一部利益率の低い案件があったが、第2四半期連結会計期間からの改善もあり前年同期以上の利益を確保した。結果、売上高は81億9百万円（前年同期比108.9%）、セグメント利益（営業利益）は、3億8百万円（前年同期比114.7%）となり、当初計画並みに推移した。

○再生可能エネルギー関連事業に関しては、太陽光発電事業に係る売電事業においては、子会社の売電収入を第2四半期連結会計期間より計上しており、当連結会計年度は期初より子会社の売電収入を計上するとともに、第2四半期連結会計期間より売電を順次開始。当初計画比はやや未達成だが、前年同期より大幅増加した。バイオディーゼル燃料事業は、前年同期と比べ販売がやや増加、小型風力発電機関連事業は、販売実績はなかったが、産学官の共同研究事業にかかる補助金11百万円を営業外収益として計上している。

セグメント利益（営業利益）は、売電開始に伴う接続調査検討費用15百万円が臨時に発生したこともあり、結果、売上高は93百万円（前年同期比110.2%）、セグメント損失（営業損失）は、72百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）28百万円）となり、当初計画未達となった。

○その他の事業に関しては、土木事業については、前連結会計年度は第2四半期連結会計期間より計上し、当連結会計年度は期首より子会社の工事収入を計上した。クリクラ事業は前年同期と比べやや増加。

結果、売上高8億51百万円（前年同期比203.0%）、セグメント利益（営業利益）は90百万円（前年同期比774.75%）となり、当初計画を大幅に達成した。

株式会社ダイキアックス（4245 東証1部）の2018年12月期第2四半期決算短信については、こちらをご参照ください。

<http://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03821/76e50fde/f66c/43f6/838a/55f5c1a94902/140120180806491955.pdf>

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる

損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

[Borderless IR 株式会社](#)

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

T E L 03-4588-6706

info@b-ir.co.jp

Borderless IR は、国内・海外向け I R 情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニュースレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外 I R 支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。